

市外連携医療機関への在宅医療・介護連携に関するアンケート結果

I. 概要

1. 送付先機関（12医療機関うち10医療機関返信）

- ・一宮市民病院 ・名古屋西部医療センター ・名古屋医療センター
- ・済生会リハビリテーション病院 ・名鉄病院 ・小牧市民病院
- ・稲沢市民病院 ・名古屋第一赤十字病院 ・米田病院
- ・あま市民病院 ・上林記念病院 ・好生館病院

2. 期間

令和3年1月

3. 方法

事前に該当医療機関に電話し、アンケートお願いの旨と担当部局を聞き取り、後日送付。

II. アンケート結果

1. 入院時に外部との連携で困ったことはあるか。

- ① 現在、特に困っていない・・・6機関
- ② 在宅時の連携先がわからない・・・4機関

2. 清須市の高齢者患者の入退院時支援で地域との連携において困ったこと。また、スムーズに行うための方法は何か。

【入院時】

○入院時連携シート

- ・長期・短期プランがわかるとよい
- ・患者や家族の治療の直近の意向（思い）の記載
- ・連携シートが届かないことがあります

○退院のメドの問い合わせは、MSWは全ケースに対応していないので答えることが困難。

○入院患者の連絡先が不明時の際の相談先を教えて欲しい。

○市役所・包括への問い合わせなどに迅速に対応していただき感謝。

○なし〔3施設〕

【退院時】

○清須市の事業所やサービス、制限がわからず困ったことがある。

○ケアマネからの情報を退院支援する際有効に活用している。

○市内に「看護小規模多機能型居宅介護」があるとよい。

- 困難事例で地域と共に調整・支援をしたいと申し出たが、入院したら全て病院で調整をと言われた。
- 早期退院のケースで、外部機関から早期対応をいただかず、在宅調整に時間がかかったことがある。
- 在宅改修について独自のルールがあり困る。
- 早期退院時に連携不十分なまま急な連絡を関係事業所につたえることになり大変心苦しい。看護サマリーだけでも渡せるよう病棟にオーダー。

3. 在宅医療介護連携についての意見

- 訪問診療可能な在宅医の一覧。対応可能な診療科、末期対応等も含めて。
- 清須市は他地域と比べ包括やケアマネとスムーズに連携がとりやすい。
- 看取りにおける連携。地域住民と共にACPのあり方を考えていきたい。
- コロナ陽性患者をどこまで在宅で対応していけるのか。
- 患者にとって一番よい方法を支援できるよう入院当初より連携したい。
- 平素より在宅医療に連携くださり感謝。
- 各事業所のオンライン参加の可否状況を知りたい。

4. 地域包括ケアシステム推進委員会への参加

- ① 参加可能・・・4機関
- ② 参加困難・・・2機関
- ③ その他・・・4機関

5. レインボーネットの登録について（名古屋市内の医療機関のみ回答）

	登録の可否	理由
名古屋西部医療C	できない	はち丸ネットワークも充実していない現状のため
名古屋医療C	できない	RNの詳細がわからない
済生会リハビリテーション病院	要検討	—
名古屋第一日赤病院	要検討	—
米田病院	可能	—
名鉄病院	既に登録済み	—